

Constellation of stars news

「煌星」

きらぼし／ほしのきらめき

MORISEA SAID

鎌倉の校外学習のときに鶴岡八幡宮で「強運掴み矢」をアカデミー用に購入しました。凶運を強運に変えてくれるパワーがあるそうで、試験や目標に向かうなどパワーがほしい時に力強く握りしめて気持ちを奮い立たせるためのものらしいです。スタッフルームに飾ろうと思います。パワーがほしいときはぜひアカデミーのスタッフルームにお越しください。

今、アカデミーは六月祭の準備で盛り上がっています。準備のため1限目の基礎学習を六月祭準備にしたところ朝の出席率が上がるという現象が起こっています。この時期にしかできないことなのでそれはそれで良しですね。毎年「縁日」というテーマで教室の半分のスペースを借りて出店をします。去年は「アカデミーアミューズメントカジノ」というタイトルでカードゲームなどを中心にアカデミー生がおもてなしをしましたが、これが星槎中の生徒に大好評でしたので今年も同じタイトルで、アカデミーの中高生がディーラーとしてみなさんをカジノの世界へ誘います。ポーカー、ブラックジャック、丁半のルールをしっかりと覚えて場を回せるようにみんなで練習しています。小学生は輪ゴム銃とナーフで射的を準備しています。的を作ったり、ルールを考えたり、当日の回しを練習したり、自発的に生き生きと活動する姿は見えて嬉しくなります。それぞれが得意分野で発言し、自分たちの頭で考え、役割分担しながらモノやルールを形にしていく。まさにクリエイティブ活動ですね。学校行事は子どもたちを成長させますが今回の六月祭もたくさん収穫がありそうです。

また、今回はアカデミー初の「バンド」も誕生しました。高校生の軽音楽部とコラボさせてもらい、六月祭で発表します。出番は午前中、星槎高校の一室でやりますのでこちらもご期待ください。これが配信されるころには六月祭は終わっていますが、無事成功に終わっていることを祈ります。

(森下)

月間スケジュール (6/21～8/15) 水無月-文月-葉月

日	月	火	水	木	金	土
6/21	22 煌星 40 号 発行 	23	24 理科実験 小学生自己理解プロジェクト 7 月生オリエンテーション	25	26	27 保護者会(AM) 土曜体験(PM)
28	29	30 	7/1	2	3	4
5	6	7 満月	8 理科実験 	9	10	11 土曜体験(AM) 説明会
12	13	14 午前授業 新月	15	16	17	18
19	20 海の日	21 藤堂さん 特別授業 上弦	22 夏休み前最終 登校日	23 夏休み	24	25
26	27	28	29 	30	31	8/1
2	3	4	5 満月	6 	7	8
9	10	11 山の日	12	13 	14	15

新月

【リマインド&お知らせ】

お知らせ ※予定は変わることがあります。クラスルームでのお知らせも併せてご確認ください。

●6月24日(水) 理科実験「虹ができる科学的なワケ～光の分散を理解する～」

9:30～小学生／10:40～中高生

小学生は 10:40～12:00 で自己理解プロジェクトを実施いたします。

●6月27日(土)保護者会につきまして

9:15～準備 ※9:15からお茶コーナーと資料組みのお手伝いできる方、よろしくお願いいたします。

10:00～10:40 全体会(小学生ラボ③/中高生ラボ②)

10:50～11:30 学年会(小学生ラボ③/中 1・中 2 ラボ③/中 3 高校生ラボ①)

11:30～12:00 茶話会(自由にお過ごしください)

13:00 より土曜体験講座実施のため完全退室 12:15にご協力よろしくお願いいたします。

●7月14日(火)は諏訪出発前日のため午前日課となります。12:00終了予定です。(お昼軽食持参可能)

●7月15日(水)～17(金)サマースクール諏訪の詳細は後日配布するしおりをご覧ください。サマースクール不参加の児童生徒は別プログラムで授業を実施いたしますので通常通り登校してください。

●7月21日(火)藤堂さんの特別授業、今回のテーマは「宗教と神話」です。

10:30～12:00 スライドを基にして講義

12:00～12:40 昼食

12:40～13:30 ワークショップとまとめ この日は13:40終了予定です。

●夏休みも SEISA アカデミーを開校します。夏課外の申し込みフォームは作成し27日の保護者会で配布いたします。

★SEISA アカデミーの夏課外★ ※土日は除く

【前半】7月27日(月)～7月31日(金)

【後半】8月19日(水)～8月26日(水)※高校生は後半に前期試験対策を実施します。

【時間】9:30～14:00/午後まで残る人はお昼持参してください。

1限 9:30～10:20 基礎学習

2限 10:30～11:20 基礎学習

3限 11:30～12:20 マイプロなどやりたいこと(個別に相談)

昼食 12:20～13:00

4限 13:00～13:50 マイプロなどやりたいこと(個別に相談)

振り返りして14:00解散

特集：SEISA アカデミー 雨の思い出

梅雨ですね。梅雨の仕組みはアカデミー生はよく理解していると思いますが大丈夫かな。エベレストで南北に別れ別れになった偏西風が日本付近で再会するのでしたよね。それはそれは涙の再会で多くの雨をもたらしますがこれは恵みの雨でもあるんですよね。そうはいっても 45 日ぐらいある梅雨の期間で実際に雨が降るのは半分ぐらいです。そして今回の特集は、この雨にまつわる思い出です。皆さんから寄せられた雨にまつわる思い出とそのイメージを紹介します。

マリオ	北海道の地平線が見えるかという平原で、遠くの丘に黒い雲が浮かび、太陽光を背景にして雨が降っていたのを見たのは新鮮でした。雨が降るのを客観的に眺めたことで自然のサイクルの中に自分が存在しているのを感じました。身の回りを眺めてみてください。見えるといろいろわかりますよ。	
-----	---	---

RYU-ちゃん	雨が苦手な龍少年でしたが、小学生のときにやった「歩くのと走るのどっちのほうが濡れる？」の授業がとても楽しかった思い出があります。実験の結果は、、、どっちもずぶ濡れになる！でした！ 良い子はマネしないよーに！	頭・肩の面積と、身体の全面の面積は、10 倍くらい違うだろ？ 普段の10 倍以上の早さで走らないと、走る意味は無い！ 小走りなど無駄の極地！ 
Mさん保護者	子供の頃、大雨が来るとシャンプー「ティモテ」CMの「外で服を着たまま髪を洗うシーン」を再現するため、妹たちとシャンプーを持って外に出ました。泡立てて笑い転げるだけ。背徳感もあり最高の気分でしたね。	
Sさん	雨とは、降っている時だけが雨なのか。 水分を溢れんばかりに含んだ大きな雲がひしめき合う空、濡れた地面と晴れ始めた空、どこまでが雨なのかと思います。 空の予兆や余韻も含めてわたしは雨だと思います	
ザッキー	「見に行こう！」と、台風で増水した多摩川へ、度々私を連れ出した今は亡き祖父。後日テレビで「危険、近づくな」と報道されていました。じいさん、防災教育の教材が豪快すぎるよ。天国で反省して～（※真似厳禁！）	
いそっぴ	雨、特に大雨と聞くと、我が家では、私に重要な仕事があるのです。我が家は、私道の行き止まりの先にあり、その道は我が家に向かって少し下っているのです。ですから、道に落ちた雨水は全て我が家へと流れ込みます。大雨となると、排水溝の蓋は外れ、側溝は溢れ、そんな雨水が全て我が家の玄関へと勢いよく流れ込みます。ですから、大雨警報や予報が出ると、私の出番がやってきます！最近では妻からLINEで「大雨予報あり。帰宅次第・土嚢ヨロ！」なんて指令が出ます（笑）。この仕事が始まり前になってからは、日頃から側溝の泥を取り除いたり、側溝の網に着いたゴミ（タバコ・アイスクリームの包装袋・ティッシュなど）をチェックしたりと、掃除好きなおじさんになりました。一度、大雨の日に、マンホールの蓋が勢いよく取れ、1mぐらいの水が噴き出している中、庭から土嚢をかき集め、びしょびしょになりながら、玄関に土嚢を積んだことがありました……。あの雨に打たれた寒い夜の日のことは、一生忘れません。	
かねごん	あれは昔の星槎高校のキャンプ実習で、東京都の奥多摩町に行った時の事です。その年は台風が3つ、直撃する予報でしたが、キャンプは決行。その結果、キャンプ実習は避難実習に早変わりし、避難勧告が出ている山から避難をするという、普段ではできない経験をした。というのが、雨の日の思い出です。	
しー	長野から東京に上京したての頃、これ位の雨なら傘をささなくて良いかなと傘を持たずに外出したら、通行人のほとんどが傘をさしていたことがありました。田舎育ちが関係あるかは分かりませんが、傘をさすか、ささないかの感覚の違いにとってもびっくりしたことを今でも覚えています。	
あいちゃん	浪人生だった頃に予備校の仲間を通学途中に見つけて、その日の雨や浪人生活の愚痴を雨音に負けないくらいの大きな声で話しながら予備校まで歩いたことは今となってはいい思い出です。写真は大学生になって予備校の仲間とお花見をした時のものです！	
もりしー	雨といえば九州は「台風」。大雨の中、木製の雨戸を母がはめ込もうとしたそのとき！強風にあおられ母は雨戸と共に飛んでいきました。庭の石におでこをぶつけて顔が血だらけに。救急病院にいったって何針か縫いました。このときの体験を作文に書いたら入選しました。小5の時の思い出です。	

YOSSY's ROOM

(とある人の) 雨の日の思い出 (実話)

5 月の末、天候は雨、学校へ向かうバスの中です。

通勤通学でバスに乗るほとんどの人が、車内では自分の【ポジション】または【習慣】を持っているような気がします。同じ時間に利用することが多くなると、座る場所や立っている場所がなんとなくきまってきたり、そこへ行けないと居心地が悪く感じたりするのではないのでしょうか。私は出来るだけ一人掛けの椅子に座ります。

その日は雨ということもあり、そのバランスは崩れ、バスのダイヤも乗る時間帯も違ったものになっていました。私もいつもはあまり座らない最後部の 5 人掛け座席に居心地悪く座っていました。隣には微妙な間隔を空けて女子高生が座っています。と、そこへ同じ学校の男子高生でしょうか、片方のイヤホンを外しながら近寄ってきました。

「おはよー！」

(お、同級生ですか)

「おはよう！」

(雨だけど、さわやかだなあ)

「ねえ・・・ここ座ったら？」

(この隙間の事だな、はいはい、詰めますよ)

「・・・ありがと、」

(お、君は案外ぶっくらぼうな男か?)

「ねえ・・・何を聴いてるの？」

(まあそうなるよね)

「ん？ 聴く？」

(ん？差し出してる！) (い、いきなり距離をつめた、やるな！)

「うん！！」

(！！！！！！ って、もう声が弾んでますや～ん！)

韓流ドラマのワンシーンか何かですか？これは！

片方ずつイヤホンをしながら同じ音楽を聴きながら。そりゃ雨音も良い BGM ですよ。

これ、このお二人にとっては絶対に【雨の日の思い出】ですよ。 (吉川)

あいちゃんだより

6 月 10 日の鎌倉校外学習は、おかげさまで無事に行程を終えることができました。

歴史散策コースでは鶴岡八幡宮と小町通りを巡り、江ノ電に乗って鎌倉の大仏を見学しました。

登山自然コースでは銭洗弁財天を訪れたあと大仏ハイキングコースを歩き、同じく鎌倉の大仏を見学するという行程でした。

何度か鎌倉を訪れたことがある人も、今回が初めての人も、それぞれに新しい発見や体験があり、良い学びの機会になったと思います。

私自身も小学 4 年生のときに校外学習で鎌倉へ行きましたが、今でも強く印象に残っています。20 年以上前のことなので記憶があいまいな部分もありますが、学校近くの駅で引率の先生やクラスメートと待ち合わせ、電車で鎌倉へ向かい、鶴岡八幡宮を見学し、小町通りで買い物を楽しみ、その後七里ヶ浜まで歩いて海辺で遊んで帰った——そんな流れだったと思います。

9 月に入って涼しくなってきた頃でしたが、靴を脱いで波打ち際で遊んだことや、鎌倉駅前のマクドナルドでソフトクリームを買ってもらったことは特に鮮明に覚えています。

当時の引率の先生は、私が小学 1・2 年生の頃の担任の先生でした。鎌倉へ行った頃にはすでに別の学校に赴任していたにもかかわらず、連絡を取って再会してくれたことも、強く印象に残っている理由の一つです。その先生は今ではもうとっくに定年を迎えている年齢ですが、いつか再会できたら、私も教員になり、鎌倉へ校外学習の引率で行ったことをぜひ伝えたいと思っています。

これからも学校の外に出て、さまざまな場所で学びを深めていきましょう。(相原)

Trio de Academy

？あれ？何このコーナー？今までこんなのあったか？と思った方、その通りです。今月から新しく始まった新コーナー「Trio de Academy」では、アカデミー生 3 人が交代制で日常での出来事をつつらと語っていきます。(私はアカデミースタッフとは違い達筆な文は書けませんが、温かい目で見守って下さいませ)

さて、本題に移りましょう。私はアカデミーで数学の研究をしています。最近とある研究の発表会で賞を頂きました！今回はその内容に関するお話をします。難しそうに思えるかもしれませんが、深入りはせ

ずフィーリングだけをお伝えするのでご安心下さい。

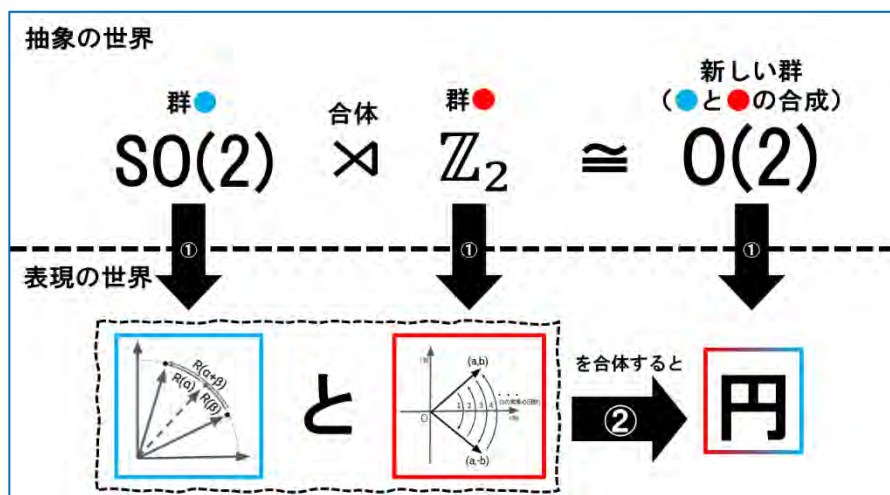
私が賞をいただいた発表のテーマは、群論という分野の数式「 $0(2) \cong SO(2) \rtimes \mathbb{Z}_2$ 」を証明することでした。...と言われても何も分からないですね。大丈夫です。実際この式は「抽象的」で難しいです。群論とは端的に言ってしまえば、モノの構造の塊の特殊な条件について考える分野であり、だからこそ多くの議論は抽象的になりがちなのです。それでは頭が整理できなくてこんがらがってしまうではないか！

そのような問題を解決できるのが「群の表現」という概念です。これは、群の構造を具体的なモノに「見立てる」という考え方です。もし仮に難しい群の構造を空間や矢印といった、「図で表せる表現」に落とし込めたなら、頭も整理しやすくなりそうですね？（これが一般的に「群の線型空間による表現」と呼ばれるものです）

前提知識が長くなってしまいましたね。すみません。それでは私が最初に提示した数式、「 $0(2) \cong SO(2) \rtimes \mathbb{Z}_2$ 」を証明してみましょう。この式の主張は「 $SO(2)$ という群と $\mathbb{Z}_2$ という群を $\rtimes$ という記号を用いて合体させると $0(2)$ という新しい群が作れる」というものです。しかし、このままの形で議論を進めるのは少し難しそうですね。なので、 $SO(2) \cdot \mathbb{Z}_2$ の構造をそれぞれ図で表してみましょう（群の表現を与えるということです！）そしてその図をベースに、二つを合体させて $0(2)$ を作ろうと思います。

この証明の一番の難関ポイントは $\rtimes$ という合体の概念自体がかなり難しいということです。なので公理に基づいてネチネチ頑張る必要があります。すると…解けます。

どうですか？少し難しかったですか？次回のアカデミープレゼン発表会では、図を用いて今回の話に触れる予定です。興味のある方は楽しみに。以上になります。さよなら～



編集後記

季節は梅雨です。今号の特集は「雨の思い出」です。スタッフのみならずメンバーや保護者の方からも思い出を投稿いただきました。これからもできるだけオープンに案内しますので是非皆さん参加ください。当事者として PAL (Participate And Learn: 参加して学ぶ) しましょう。それが3つの約束の次なる段階、協働・共創への第一歩です。

そして特集記事ではやはり大雨の思い出が多いですね。梅雨の雨は恵みの雨でもあります。ぜひ皆さんお気を付けください。先日の雨では私の家のエリアでは、内水氾濫による警戒レベル4 避難指示が発令されました。対象者は: 78,205 世帯 160,417 人とのことでした。避難場所は近隣の小中学校全11校です。ここでふと思いました。「全員避難したら大変なことになる…」単純計算で1校につき15,000人です。「おいおいそりゃ無理でしょ。」と皆さんが考えたのかは知りませんが、実際の避難者数は2人とのことでした。実際7年前の台風では近隣の浸水被害で亡くなった方がいるエリアなのですが、そしてその時は我が家もそろって避難し避難所で一夜を過ごしたのですが、今回はハザードマップ含め大いに検討した結果自宅2階待機にしました。厳密にいうと行政からは「立ち退き避難を基本とし、洪水等及び高潮に関しては、ハザードマップ等により屋内で身の安全を確保できるか等を確認したうえで自らの判断で「屋内安全確保」することも可能である」というのが正式なので（避難情報に関するガイドライン(内閣府)）、まあ妥当だったかなと思います。この手の判断は一步間違えると「オオカミと少年」になりかねません、いや、ギャングラーの誤謬の逆ともいえるでしょう。つまり「ホットハンドの誤謬」ですかね。しかし、今年5月大幅に変更された気象庁の新しい5段階の防災気象情報の運用目的はこれを防ぐためだったはずなのですが、難しいものですね。様々なことで個人に責任が回ってきています。自分自身でしっかり学んで自分の頭で考えて判断せよというようになってゆくのでしょうか。(YM)

Copa Mundial 開催中！ 観るものから、出るもの、勝つものへ！